

YELL

メール
第34号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

V o l . 3 4 平成27年2月

地域連携次年度に向けて

立春を過ぎて少し暖かくなってきたかなと思うと、雪が降ったりと、まさに三寒四温で季節は進んでいるようです。学校は一年間の総まとめの校務御多用な時期とは思いますが、体調管理には十分お気を付けください。

さて、今年度4月に各学校に地域連携教員が設置されてから一年が経とうとしています。戸惑いや不安も多かった中スタートした地域連携教員の設置ですが、それぞれの学校では、地域連携の充実を図り様々な活動を展開していただいたことに心より感謝いたします。今号では、より充実した地域連携を目指して、次年度に向けて地域連携教員ができることを考えていきたいと思います。



①今年度の地域連携の実施について校内の実態を把握する。

各学年ごとに、授業や学校行事等で今年度実施した地域連携に関する内容（学校支援ボランティアを受け入れたり、地域の施設や団体等と連携したりした学習）を洗い出ししてもらいます。簡単でよいので、活動内容や連絡先、留意点等一緒に記述してもらおうとよいでしょう。また、今年度は実施できなかったが、地域と連携すると学習の効果を上げることができる内容についても記述してもらおうとよいでしょう。その情報を校内で一元化しておきましょう。

②把握した実態を基に、計画を見直す。

一元化した情報を基に、生涯学習全体計画や地域連携推進計画、年間活動計画を見直してみましよう。

→学校と地域を結ぶ地域連携教員のガイドブック P22～P25、平成26年度那須地区教育の概要 P110 参照

③各学年より要望があった学校支援ボランティア等の整理をし、募集に向けて準備を進める。

必要なボランティアについて校内で検討

し、地域教育コーディネーターに相談したり、地区内の回覧でお知らせをしたりして情報を集め、次年度に協力いただけるよう準備を進めていくとよいでしょう。

④今年度の成果と課題を明らかにする。

チェックシート（学校と地域を結ぶ地域連携教員のガイドブック P21 参照）等を利用し、地域連携に関する校内の取組や地域連携係としての活動内容を振り返り、成果と課題を明らかにし、全職員で共通理解を図りましょう。

これらの内容を参考に、各学校の実情に合わせて、次年度に向けてより良い活動を目指し、準備を進めていただければと思います。

先日行われた栃木県教育研究発表大会の生涯学習部会では、地域連携が学校経営に与える効果についての調査研究の結果発表がありました。効果としては…

- ①学校を開くことで、地域は学校に応える。
- ②幅広い教育活動が可能となる。
- ③教職員の意識が変わる。
- ④児童生徒の豊かな心の醸成につながる。
- ⑤地域連携教員の活躍への期待が大きい。

以上5つの効果が挙げられました。地域連携は目的ではなく、手段です。学校・家庭・地域が三位一体となって教育活動を充実させていけば、学校が抱える課題の解決につながるはずですが、地域連携教員の負担は大きいかもかもしれませんが、学校全体で組織的に取り組むことができるよう今年度の反省を生かし、校内体制を整えてほしいと思います。

※地域連携教員のガイドブックについては、「栃木県教育委員会のホームページ」よりダウンロードできます。また、ガイドブックに掲載されている資料（計画の様式、事前打ち合わせ用紙等）も、データがダウンロードできるようになっております。「地域連携教員活動支援事業」で検索してみてください。